令和３年度　入学生用　〔　芸　術　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	美術表現	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	デザインによる表現の違い、可能性を学習し、課題設定のもと、制作に取り組む。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。

以上の観点をふまえ、
意欲的・主体的に活動に取り組み、その喜びを味わおうとしているかを総合的に評価します。
提出作品は、(1)設定された課題条件に合った作品になっているか。(2)色や形の可能性を引き出しているか。(3)卒業制作では、作品の完成に向けて意欲的に取り組み、意図した表現が実現できたか。を評価します。

担当者から

表現や鑑賞の過程での振り返りを大切にし、「何を、どのように表したかったか」「作品にどんな印象を持ったか」など、自分なりの思いや考えをもって活動に臨んでください。また、前の学習成果を後の学習に生かすように心がけて取り組んでください。学んだことの集大成として卒業作品を制作します。自由な発想で制作してください。この科目を通して芸術を愛好する心情と芸術文化を尊重する心を育み、様々な芸術作品に興味を持ち続けていってください。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価基準	評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8		
4	デザイン	デザイン	表現の違い1	○	○				○			形や色彩によって表現される物の違いを理解する。	提出作品などをもとに総合的に評価する。
5			表現の違い2		○	○					○		
6			色や形の持つ力1	○	○				○			色や形の持つ力について学習する。	
7			色や形の持つ力2		○	○					○		
8			デザインの可能性1	○	○				○			デザインの持つ可能性について学習する。	
9			デザインの可能性2		○	○					○		
10	課題制作	課題制作	課題制作1					○		○	○	課題設定に基づき、自己表現を実現する。	
11			課題制作2					○		○	○		
12			課題制作3					○		○	○		
1			課題制作4					○		○	○		
2			課題制作5					○		○	○		
3			課題制作6					○		○	○		